

蒲郡市

東港地区

まちづくり

ビジョン



「まちづくりビジョン」は、市民、事業者、行政等が「東港地区」で施設整備や賑わいづくり等に取り組む際、各々がまちの将来像とまちづくりの方向性等を確認し、それぞれの役割や立場を認識した上で取り組むべき内容を示しています。

概要版



竹島が浮かぶ三河湾に抱かれた、 誰もが過ごしたくなる 居心地の良い まち

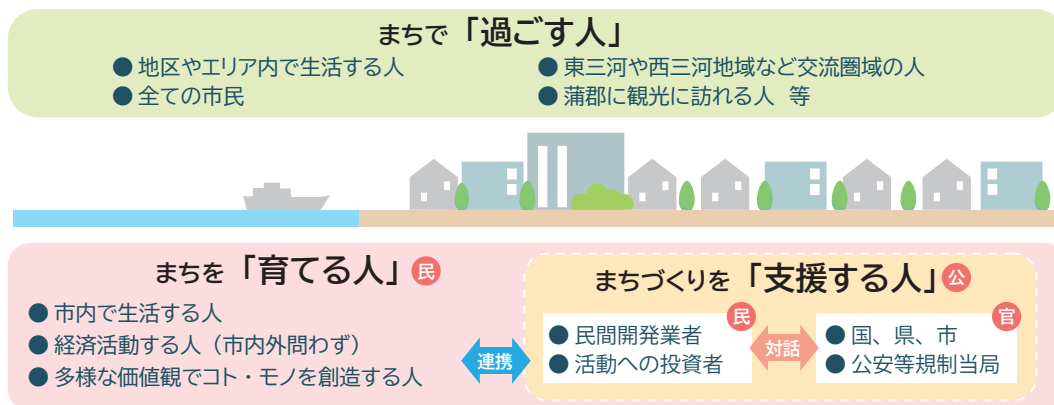


蒲郡のシンボル「竹島」と、多くの文豪たちにも愛された波穏やかな三河湾の景観を活かして、市民やまちを訪れる人たち（「来訪者」＝観光客や交流圏域の人を含めた人たち）が、それぞれの日常の一部として歩いて過ごしたくなる、居心地の良い「海辺のまち」の形成を目指します。

まちづくりの方法

まちづくりに関わる人

魅力あるまちを創り上げていくためには、自らが行動し、相手や物事に対して積極的に働きかけることのできる「まちを育てる人」が中心となり、「まちづくりを支援する人」との連携を通じて、「まちで過ごす人」が居心地が良いと感じるまちの実現に向けた各種取組みを継続して行うことが大切です。



まちづくりに関わる人の役割

① 公民連携のまちづくり

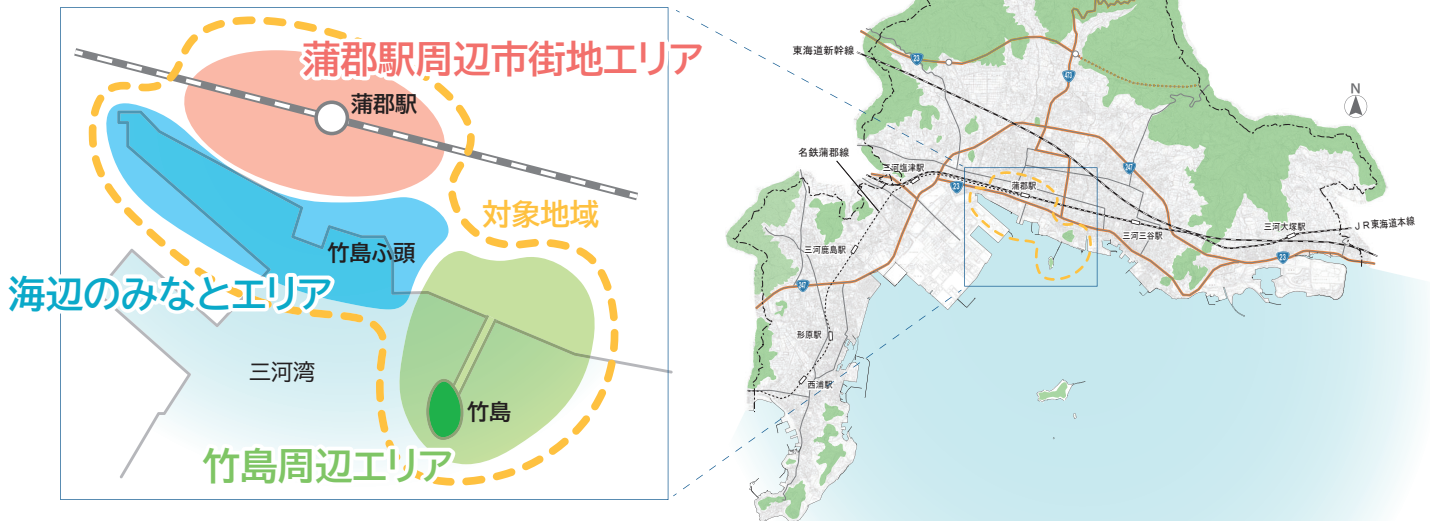
「まちを育てる人」が、公共空間を利用しながら、日常的なまちの賑わいや活力を、主体となって作り上げていくことができる環境を作ります。



② 官民対話による事業推進

「まちづくりを支援する人」の「国、県、市等」と「民間開発業者等」は、主に公共空間や公的不動産を活用したまちづくりを、「対話」を通して進めていきます。





エリア別の目指す姿

※以下に掲載しているイラストは、市内のイラストレーターさんが、将来イメージの内容をもとに描いたイメージ図です。

蒲郡駅周辺市街地エリア

住む人、訪れる人にとって少し足を延ばせば穏やかな海を直接肌で感じることのできる場所です。

まちなかにある公共空間が人々の生活に溶け込み、気軽に集い、蒲郡が「海辺のまち」であると感じながら過ごすことができるエリアを目指します。また、住む場所、食べる場所、買い物する場所、学ぶ場所等が充実したまちを形成し、「海辺のまち」の玄関口、さらには蒲郡の玄関口としての元気を取り戻したエリアを目指します。



海辺のみなとエリア

竹島心頭や東港埋立地等、海に面するゆとりある空間を有し、三河港の人流・交流を図る中心的役割を担う場所です。

「みなとの交流拠点」として竹島水族館を位置づけて、各施設の充実を図り、エリア全体が『みなとオアシスがまごおり』として発展することを目指します。また、海辺の散策や多様なアクティビティ等を通じて海と触れ合え、誰もが海を感じながら過ごすことのできる居心地の良い、また、いざという時の防災力も兼ね備えたエリアを目指します。

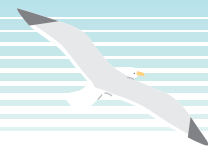


竹島周辺エリア

三河湾に浮かぶ竹島をはじめ、蒲郡クラシックホテルや海辺の文学記念館等、大勢の人によって受け継がれてきた豊かな自然環境と歴史や文化が調和した魅力的な資源が残る場所です。

これら資源を観光に活かすだけでなく、自然や歴史・文化を学び取り入れながら、新しい日常や新たなライフスタイルを創造・提案していくことのできるエリアを目指します。

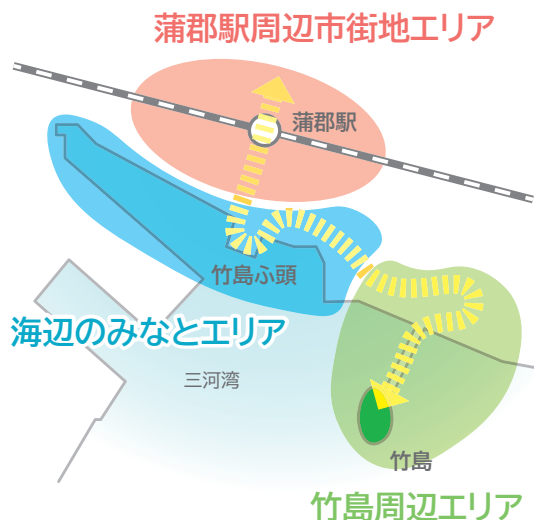




エリアを結ぶ主要回遊動線

市民や来訪者等が、それぞれ特徴的なテーマ性を持った3つのエリアを歩いて巡ることができる主要回遊動線を設けます。

主要回遊動線は、動線上あるいはその周辺に、魅力的な施設や空間、各種イベント等の様々なコンテンツが配置されることで、地区全体が日常的に過ごすことができる居心地の良い空間となるだけでなく、動線を利用して地区全体を回遊する者同士が交差し、それぞれが接点を持つことで交流が生まれる、重要な空間にもなり得ます。



主要回遊動線を創造していく際の留意点

動線の物語性

各種資源等を関連づけた、歩きたくなる「動線の物語性」を考える

今ある資源やこれから作り出す資源等を相互に関連づけながら、テーマ性のある仕掛けを施すことが考えられます。

道路空間の利用のあり方

賑わいの創出に資する、新たな「道路空間の利用のあり方」を考える

公共空間を活用した公民連携による賑わいづくりや民間事業者の活動等により現れてくるまちの変化を捉えながら、「道路」を、新たなルールに基づいた自由な利用を許容する場や空間として捉えることが考えられます。

移動手段のあり方

新たなモビリティの導入等、誰にとっても安全・快適な「移動手段のあり方」を考える

散策等の移動を支援し、地区の魅力为谁もが容易に享受できる新たなモビリティ等、歩く人と共存できる、安全・快適な移動手段について民間活力を活かした導入を検討していくことが考えられます。

自動車等駐車場のあり方

アクセス性と回遊性の向上に着目した、「自動車等駐車場のあり方」を考える

駐車場を来訪者に区内を歩いて巡ってもらう時の仕掛けの一つとして捉え、効果的な土地利用の検討と併せて、地区全体としてどのように確保するのかを、民間事業者の意見も聞きながら検討していくことが考えられます。